

神戸市 教育委員会だより

2026年3月発行

発行
神戸市教育委員会

部活動から「KOBE◆KATSU」へ

本市では、2026年9月から中学校部活動にかわって、子どもたちがやりたいことに主体的に参加する「KOBE◆KATSU（コベカツ）」を開始するための取組を進めています。

コベカツクラブ 第3次募集の結果

市内の全中学1年生のアンケート結果を踏まえて第3次募集を実施し、新たに108クラブを登録しました。これまでの募集とあわせて、約1,080クラブとなりました。その結果、現在部活動で取り組んでいる主な種目について、多くの生徒が自校または近隣校で、選択できるようになりました。また、アンケートで希望が多かったダンスや料理などの活動についても、数多く登録しています。



コベカツクラブへの参加者募集が始まります（4月～）

入会方法や各クラブの詳しい情報は、コベカツクラブ活動紹介ページをご覧ください。

※第3次募集で登録したクラブのページは、3月末に公開します。

<今後のスケジュール>

- ・4月頃 参加者募集を開始
- ・7月以降 活動条件が整ったクラブで体験入会を開始
- ・9月 コベカツ開始



保護者の経済的負担を軽減します

- 会費のうち **1,500円/月** を補助(就学援助世帯は3,000円/月)
※「コベカツサポート」システムでのポイント付与により補助します。
- 参加者全員のスポーツ安全保険の保険料(800円)を公費で負担

<「コベカツサポート」システムの概要>

コベカツの開始と合わせて、会費の支払や、クラブとの連絡をスマホでできる「コベカツサポート」システムの運用を開始します。利用方法等については、改めてご案内します。



※保護者の経済的負担軽減に関する予算は、市会での議決を経て成立します。

2026年度の主な取組

本市では、一人ひとりの個性を最大限に活かす『子供が主役のこれからの学び』の実現に向けて取り組んでいます。2026年度に重点的に行う取組を紹介します。

■学習用タブレット (iPad) を導入します

学習用パソコン (Windows端末) から学習用タブレット (iPad) へ変わります。

使いやすくなった学習用タブレットを活用して、より深い学びにつながる授業づくりを進めていきます。

◎直感的な操作性！

タッチ操作により、直感的な操作ができ、小学校低学年でも扱いやすくなりました。また、図形操作や絵の描画などが簡単にできるため、子どもたちが考えを形にして整理しやすくなり、表現の幅が広がります。

◎アクティブタッチペン対応！

紙に近い感覚で手書き入力ができるようになりました。算数・数学の途中式や国語の漢字練習、理科の観察記録など、手書きで取り組む学習がよりしやすくなり、学びの幅が広がります。

◎カメラ機能の性能UP！

カメラの起動が早く、高性能になりました。理科の実験や、フィールドワーク (校外学習) などで、記録に残したいものをしっかり撮影することができます。

◎画面がきれい！

デジタル教材や画像・動画などがよりきれいに表示され、分かりやすくなりました。児童生徒のやる気アップにもつながります。

◎持ち運びやすい！

ペンを収納できるキーボード付きのケースを装着しており、校外学習や家庭学習などで使いたいときにすぐに使うことができます。

◎ペアレンタルコントロールを実装！

保護者が学習用タブレットの利用時間を制限できるようになります。



●保護者の皆さまへのお願い

- ☑タブレットは大切に 부탁드립니다。タブレットを紛失または故意に破損させた場合は、弁償していただくことがあります。
- ☑ご家庭では、使用時間や使い方のルールを一緒に話し合ってください、タブレットの適切な利用をお願いします。
- ☑詳しくは「神戸市学習用タブレット貸与規程」をご確認ください。



学習用
タブレット
貸与規程

■「すぐーる」から「ツムギノ」へ変わります

保護者の皆さまと学校園の連絡ツールが、4月から「ツムギノ」に変わります。1月中旬に「すぐーる」で配信した「保護者アカウント登録手順書」をご確認の上、3月末までに「ツムギノ」への登録をお願いします。

欠席・遅刻連絡

欠席・遅刻・早退の連絡ができます。

掲示板

登下校・授業時間中に気象警報が発表された時等の緊急のメッセージや、「学校だより」「行事案内」等のお知らせを掲示します。

その他

学校園からのアンケートに回答できます。また、今後学校園へ書類を提出できるようになります (順次ご案内します)。



よくある質問
はこちら

■小学校給食の無償化・中学校給食費の負担軽減

- 4月から、小学校給食の保護者負担がなくなります（特別支援学校の小学部も対象です）。
- 中学校給食は、半額助成に加えて食材費の高騰分も公費で負担し、保護者負担額を1食あたり170円に維持します。

	給食費	うち保護者負担額
小学校	約68,000円/年	なし
中学校	約82,000円/年	約32,000円/年



■不登校等の児童生徒に対する支援

- フリースクール等の民間施設を利用する児童生徒の保護者を対象に利用料の半額を補助します。

補助額：上限2万円/月（オンラインの場合は上限1.5万円/月）

※施設の認定、出席の認定等の要件があります。詳細は3月下旬にホームページでお知らせします。

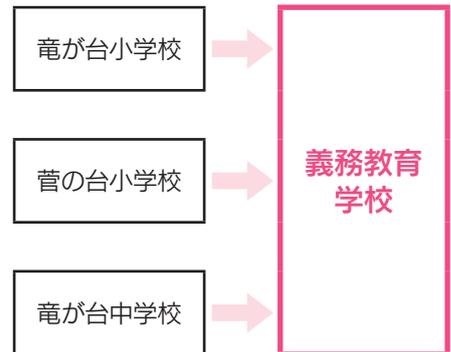
- 自分の学級に入りづらい児童生徒が、校内で安心して過ごせる教室以外の居場所として「校内サポートルーム」を全小中学校に設置しています。また、利用する児童生徒の支援のため、「校内サポートルーム支援員」を配置しています。
- 対面での支援が難しい児童生徒を対象に、メタバース空間を活用した学習支援やコミュニケーション支援（こうべっ子オンライン広場）を試行実施します。

■竜が台中学校区3校（竜が台小・菅の台小・竜が台中）の義務教育学校への移行

全国的に少子化が進み、児童生徒数の減少で多くの学校が小規模になっています。本市では、より良い教育環境を実現するため、一定の学校規模を確保する取組を進めています。

2030年度に、竜が台小学校・菅の台小学校・竜が台中学校を統合し、竜が台中学校の校地で義務教育学校（※）へ移行します。2026年度は、校舎改修の基本設計を実施します。

（※）義務教育学校：前期課程（小学校）から後期課程（中学校）までの9年間の義務教育を一貫して行う学校



■学校体育館空調の増強

現在、各学校の体育館に部分空調を整備していますが、教育環境及び避難所環境をより良くするために、空調の増強整備に向けた現地調査を行い、整備計画を策定します。また、試行的に3校で空調の増強を行います。

■神戸モデル標準服のリユース

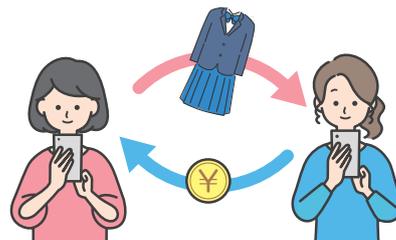
保護者の経済的負担の軽減やSDGs推進の観点から、卒業やサイズアウトで不要となった神戸モデル標準服を保護者間で取引できるオンラインフリマサービス「UNINOWA(ゆにのわ)」を試験的に導入しています。

対象校：62校

期間：～2027年5月末

※対象校の保護者の皆さまへは、1月20日に「すぐる」で利用方法等を連絡しています。

※神戸モデル標準服以外の制服については、各学校にお問い合わせください。



※ご紹介した2026年度の取組に関する予算は、市会での議決を経て成立します。

気象警報・注意報等の発表が「区ごと」になります

神戸市の気象警報・注意報等が区ごとに発表されるようになります。

<警報が発表された場合の対応>

- 学校園がある区に警報が発表された場合は、臨時休校
- 園区、校区が複数の区にまたがる場合は、いずれかの区に警報が発表されていれば臨時休校
- ※特別支援学校、高等学校は、学校ごとに対応が異なります。



3月17日13時から
「神戸市東灘区」「神戸市灘区」
など、区ごとに発表



警報発表時の
対応方針

詳しくは、各学校園から2月にお知らせしていますので、ご確認ください。

よいおこないをした児童生徒の表彰

子供たちのよりよい社会づくりに貢献する意欲と勇気を培い、健全な育成を図ることを目的に、よいおこないをした児童生徒を毎年表彰しています。今年度は個人6名と6グループを表彰します。

	学校名	学年	名前	概要
個人	千鳥が丘小学校	6年	山中 晴	【人助け】近隣の住宅が出火しているのを発見し、119番通報しました。また、火元の住宅から出てきた住民を小学校まで誘導して避難させました。
	北神戸中学校	1年	飯田 隼大	【人助け】登校中、溝に転落した高齢者を発見し、近隣の住人に救急要請を依頼しました。救急隊が到着するまで、服で日陰を作り、励まし続けました。
	玉津中学校	3年	山口 桃佳	【人助け】溝に転落してケガをしていた高齢者を発見し、救急要請しました。救急車が到着するまで水分を摂るよう促したり、アイシングを行ったりしました。
	原田中学校	1年	松本 幸仁	【防犯】公園内で迷子になっていた男児を発見し、事情を聞くとともに、励まし続けました。その後、交番に預けて、無事保護者に引き渡しました。
	伊川谷小学校	2年	是井 咲月	【地域貢献活動】約1年間、毎日通学路に落ちているゴミを拾いながら登下校をしました。
	鶴台中学校	3年	黒田 奏音	【地域貢献活動】令和4年度から週に2回程、朝や夕方に1時間ほど、近隣の公園の草むしりやお花の水やりなどを行いました。
グループ	唐櫃小学校	5年 6年	曾賀 柊斗 小林 葵吉 谷口愛結月	【人助け】道に倒れている高齢者を発見し、救急要請するとともに、児童館や福祉センターなどに行き助けを求めました。また、救急車が到着するまで、救急隊からの指示を児童らで協力して行いました。
	大池小学校	6年	東 鷹絆	
	唐櫃小学校	3年 5年	多賀 成 多賀 新	【人助け】溝に転落した高齢者を発見し、近くの交番まで走って救助を要請するとともに、救急隊が到着するまで高齢者を励まし続けました。
	高倉台小学校	6年	楠原ルイス 山下慎太郎 中西 海渡 山田 嶺	【人助け】道路に倒れていた男性を発見しました。直後にバスが来たので、停まるよう合図を出すとともに、居合わせた医療関係者とともに救護活動を行いました。
	夢野中学校	2年	山本 萌愛 村上 陽菜	【人助け】下校中、座り込んでいる高齢者を発見し、学校まで戻って教員に連絡するとともに、救急隊が到着するまで高齢者を励まし続けました。
	丸山中学校	2年	塚本 天晴 天羽 睦月	【人助け】高齢者が目のあたりから出血して倒れているのを発見しました。救急要請するとともに、救急隊が到着するまで高齢者を励まし続けました。
	葺合高等学校	1年	山口 ひな 井之口 結	【人助け】登校中、男性が倒れたのを見て、119番通報するとともに、居合わせた医療関係者とともに、救命活動を行いました。

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト

